

(2) 労働組合戦線

(A) 左翼労働組合戦線

(イ) 労働組合評議会が解散されて以来、左翼労働組合戦線は未曾有の混乱を呈して来た。評議会再建の斗争は不済に続行されて来たが、それは今日まで一つの實現化されなかった。その最大の原因は、左翼労働組合連防の指導部が破壊され、全連防の統一の指導が行はれなかったことによる。

(ロ) 最初、評議会再建を目的として全国協評会が結成され、旧評議会加盟の殆んどすべてが組合がその旗の下に集って斗争を続けた。だが、全国協評会もまた、敵の再三再四、の強襲を蒙り、その度毎に段々と指導部と各加盟組合との有機的連絡が遮断されて了ひ、そのために、指導部は、民主的基礎を失ひ、少数指導者が専断的に全協の指導方針を決定するやうになつた。

(ハ) しかも、その水口の指導部すら加、教度に互つて敵に奪はれ、その度毎々々にその援助低下を来たし、最近に至つては、労働組合運動に程なくもその方針はと考へられやうな、明かにワルトラ助の、極めて複雑苦難な方針が屢々発表されるやうになつた。(如何に優秀な指導部と虽も、民主的基礎を離れれば、客観的主体的状況に即した指導方針